

令和4年度国立大学法人東京海洋大学第5回経営協議会議事要録

日 時 令和5年3月20日(月) 14:00～15:35

場 所 白鷹館 2階 多目的スペース(品川地区)及び Webex によるビデオ会議

出席者 井関学長、五十嵐委員、池田委員、井手委員、井上委員、荻上委員、関根委員、
舞田理事、庄司理事、桑田理事(兼事務局長)、工藤理事、渡辺理事

オブザーバー 青山監事、久保田監事、岡安副学長、婁副学長、元田海洋工学部長、
田中海洋資源環境学部長、宮本教授、後藤教授

事務担当者 永井総務部長、真下財務部長、小野学務部長、安達企画評価課長ほか事務関係者

議 事

【審議事項】

1 国立大学法人東京海洋大学非常勤職員就業規則の一部改正について

桑田理事から、資料1に基づき、国立大学法人東京海洋大学非常勤職員就業規則の一部改正について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

主な質疑応答は以下のとおり(○:質問及び意見、●:回答)

○子の看護に係る特別休暇取得について、実際に該当する非常勤職員はいるのか。また、制度を利用しやすくするためのサポートはあるのか。

●令和3年度の実績では子の看護に係る特別休暇の取得率は1割未満であったが、有給に変更した後は取得率が増えると思われる。また、制度を利用しやすくするために、過半数代表者等に適切に説明の上、周知を行っている。

2 令和5年度予算案について

桑田理事から、資料2-1～2-3に基づき、令和5年度予算案について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

主な質疑応答は以下のとおり(○:質問及び意見、●:回答)

○令和5年度の予算の中で特筆すべきものはあるのか。

●本学の研究力を強化するため、事項指定経費の教育研究組織改革で概算要求が認められた「海の研究戦略マネジメント機構(仮称)」の組織整備を行うとともに、学長裁量経費のミッション実現戦略経費で、本年度配分した「ボトムアップ型の研究」に加え、令和5年度は「トップダウン型の研究」に対して研究費を配分することを考えている。

3 国家公務員の定年引上げ等について（東京海洋大学における対応）

桑田理事から、資料3に基づき、国家公務員の定年引上げ等を受け、本学においても国家公務員準拠の方向性で調整を図る必要がある旨の説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

主な質疑応答は以下のとおり（○：質問及び意見、●：回答）

○優秀な人材を有効に活用できるように制度設計を行ってほしい。

●職場の魅力を保っていけるよう最善の制度設計を行っていききたい。

【報告事項】

1 理事、副学長、学長補佐候補者について

学長から、資料4に基づき、理事、副学長及び学長補佐候補者について報告があった。

2 理事等の役割分担について

学長から、資料5に基づき、理事等の役割分担について報告があった。

3 東京海洋大学附属図書館長、ミュージアム機構長、総合情報基盤センター長及び学内共同利用施設長について

学長から、資料6に基づき、東京海洋大学附属図書館長、ミュージアム機構長、総合情報基盤センター長及び学内共同利用施設長について報告があった。

4 学長特別補佐の委嘱について

学長から、資料7に基づき、学長特別補佐の委嘱について報告があった。

5 令和5年度一般選抜の出願状況について

舞田理事から、資料8に基づき、令和5年度一般選抜の出願状況について報告があった。

6 学外委員から得られた意見に関する対応状況について

学長から、資料9に基づき、学外委員から得られた意見に関する対応状況について報告があった。

7 令和5年度経営協議会の開催日程について

学長から、資料10に基づき、令和5年度経営協議会の開催日程について報告があった。

8 その他

・役員の退任について

学長から、庄司理事が本年3月をもって退任する旨の報告があり、本人から挨拶があった。

以上

配付資料

○令和4年度第4回経営協議会議事要録

資料1 国立大学法人東京海洋大学非常勤職員就業規則の一部改正について

資料2-1 令和5年度予算編成方針

資料2-2 令和5年度予算（案）

資料2-3 令和5年度予算学内当初配分（案）

資料3 国家公務員の定年引上げ等について（東京海洋大学における対応）

資料4 令和5年度・執行部体制

資料5 理事等の役割分担について

資料6 東京海洋大学附属図書館長、ミュージアム機構長、総合情報基盤センター長及び
学内共同利用施設長の選考について

資料7 学長特別補佐の委嘱について

資料8 令和5年度一般選拔出願状況

資料9 学外委員から得られた意見に関する対応状況について

資料10 令和5年度東京海洋大学経営協議会開催日程